

山と里と海をめぐる大循環を読んで

原田 真琳

わたしは山と里と海をめぐる大循環とは、  
どういう意味なのかなとわかりませんでした。  
でも、読み終えた後、自然はグルグルと大き  
な循環をえかいていることなんだなと思いま  
した。動物のフンが植物の肥料になることを  
知って、動物の数が少なくなったら、植物の  
肥料の量も少なくなるんだなと思いました。  
それに、動物のおかげで、植物が増えている

けれど、その植物を食べて動物も増えている  
おたがいに助け合っているんだなと思いました。  
た。

鳥は木の実の種を運ぶのに大活躍だから、  
鳥は木の実の種を運ぶゆう便屋さんみたいだ  
なと思います。また、動物がたくさんいる  
山は、たくさんさんの肥料がまかれるから、その  
山の植物はしあわせだろうなと思いました。  
山はどんなに遠く海からはなれていても、  
川でつながっていて、海の魚などを育てるは

たらきがあることを知りました。でも、環境問題などで山がなくなると、山のはたらきが弱くなり、海がよごれてしまうだろうなと思いました。

人間は、大きな循環のおかげで、おいしい水が飲めたり、お米や野菜が食べられることを初めて知りました。山や水のある生活があったり前だと思っ、ていたけど、物を大切に使う、たり、むだ使いをなくそうと思いました。おいしい物が食べられるお礼の意味をこめて、これからは環境をよくするために、私たちができる身近なことを、家族や友達といっしょに少しずつしようと思いました。